



令和6年中の高齢者死亡事故の特徴

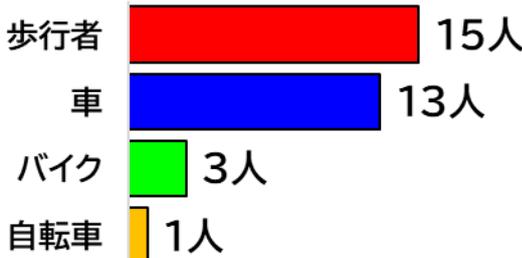
鹿児島県警察本部交通企画課

1 発生件数・死者数

	全体		高齢者		
	発生件数	死者数	発生件数	死者数	死者数構成率
令和6年	52	53	31	32	60.4%
令和5年	39	40	28	28	70%
対前年比	+13	+13	+3	+4	

- 令和6年中、全体・高齢者共に死亡事故発生件数、死者数が前年より増加。
- 全交通事故死者数の約60.4%が高齢者で、全国平均の約56.8%を上回る。
- 平成15年から22年連続で、全交通事故死者数の過半数を高齢者が占める。

2 状態別死者数



3 高齢者死亡事故詳細

○ 昼夜別の死者状況

昼	17人
夜	15人
計	32人

○ 歩行中死者数・夜光反射材着用状況



歩行中死者	昼間	6人	反射材	着用	0人
	夜間	9人		非着用	9人

○ 横断歩行中の相手車両の進行方向



歩行者から見て右から来た車との衝突	3人
歩行者から見て左から来た車との衝突	10人

歩行者の方へ

- 夜間や早朝など暗い時間帯の外出は控え、やむを得ず外出する際は、明るい色の服装を心掛け、必ず夜光反射材を着用しましょう。
- 近くに横断歩道がある場合は、横断歩道を渡りましょう。
- 横断する際は、右、左を確認し、道路の中央付近でもう一度左の安全を確認して横断しましょう。
- 車両の直前直後の横断はやめましょう。

運転者の方へ

- 補償運転により、運転環境を整えて、ゆとりのある運転に努めましょう。
補償運転とは、運転者自身が「より安全な運転環境」を選択して運転することで、交通事故の危険を少なくする運転方法をいいます。詳細は裏面を参照してください。
- 先進安全技術搭載の「安全運転サポート車」への乗り換えを検討してみましょう。
- 交通事故の被害軽減のため、発進前に必ずシートベルトを着用しましょう。

～危険回避行動をとりましょう～

高齢運転者の交通事故防止対策

おもいやりの

心で補償運転

補償運転は、運転手さんが「より安全な運転環境」を選んで運転することで、交通事故の危険を少なくする運転方法です。



お おだやかに、ペースを守って運転しましょう！

ドライブ気分で、ゆっくり運転しましょう。
あわてないで、ブレーキとアクセルを確かめて！



も もう一度乗る前に、調子を確認しましょう！

身体や愛車の調子を確認しよう。
調子が悪くなったら、安全にすぐ止まって！



い いま、出掛ける必要があるか考えましょう！

天気が悪い日は無理して外出しないで！
安全な時を考えてみましょう。



や 夜間の運転は控えましょう！

昼間の方が明るくて安全です。夜は見えにくいので気をつけましょう！



い リスクを避けて、通り慣れた道を運転しましょう！

いつもの道が安全です。高齢運転者標識をつけて、おもいやりの輪を広げましょう。



運転前の体操で事故防止！

～身体能力や判断力・認知能力を維持して安全運転～

県警察では、交通事故防止対策の一環として、安全運転に必要な体力、運動機能の維持向上を図ることを目的に、鹿屋体育大学と協働して「安全運転体操」を考案し、体操を広める活動を展開中です。

この体操は、「おはら節」の音楽に合わせ、椅子に座る動作やハンドル操作等の体を使う動作を行い、体幹を鍛えることができるほか、体操をしながら簡単な問いに答えることで、運転に必要な複数の情報を同時に処理する能力を養うことができます。ぜひ御活用ください。

なお、体操の動画は鹿児島県警察公式YouTubeチャンネルで見ることができます。



動画は
こちらから